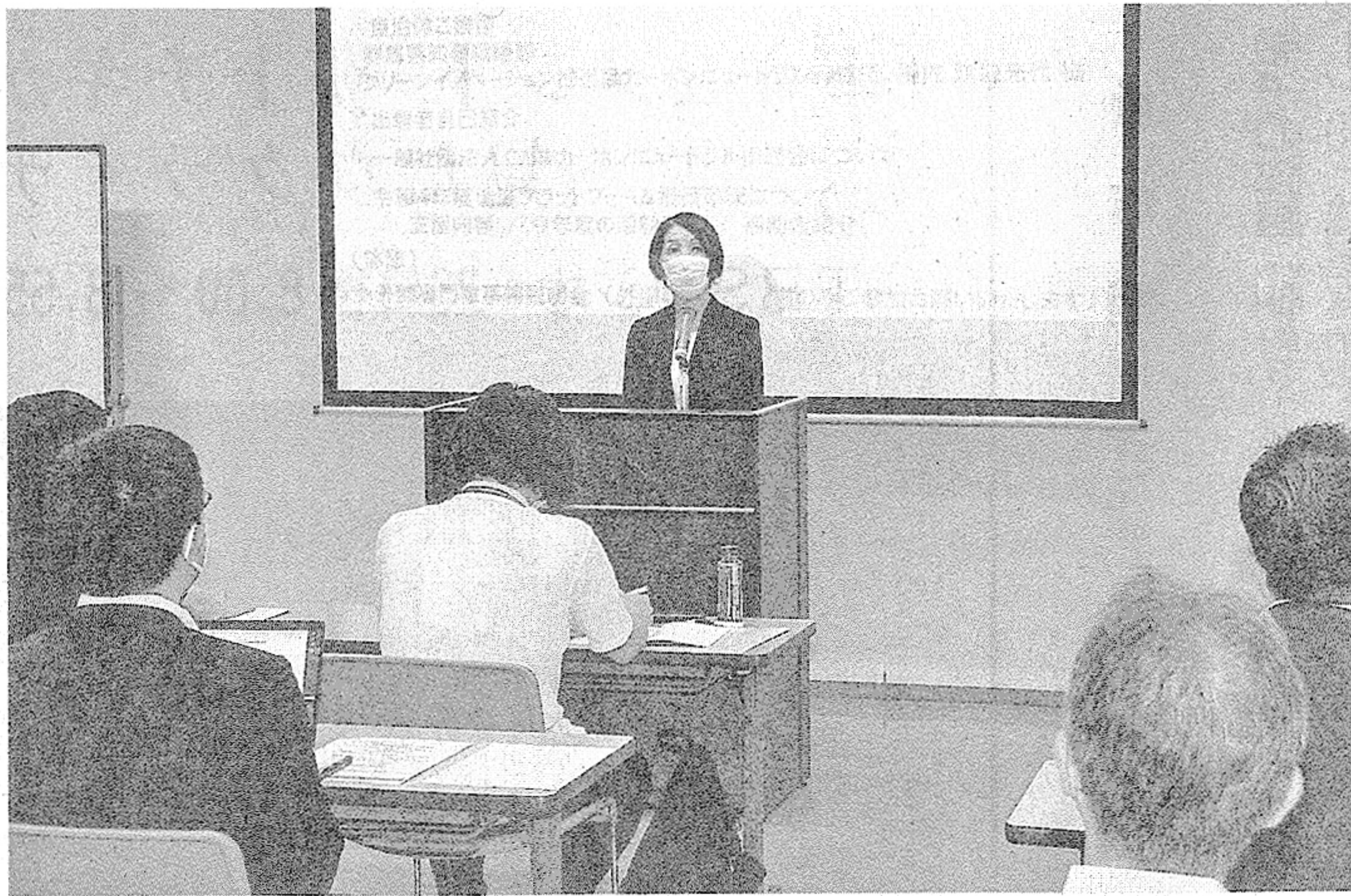


# 企業の省エネ・脱炭素化



ぐんまカーボンニュートラル推進会の連絡会で  
あいさつする赤尾代表理事（20日、高崎市で）

## 高崎 推進会 支援本格化へ

企業の省エネ化や脱炭素化を支援する「一般社団法人ぐんまカーボンニュートラル推進会」（高崎市、赤尾佳子代表理事）の連絡会が20日、高崎市内下之城町の市産業創造館で開かれた。今後、推進

会では主に中小企業を対象にした支援を本格化させていく。

政府は2050年に温室効果ガスの排出量を実質ゼロとする「カーボンニュートラル」を目指す。大企業に比べ、中小企業では取り組みが進んでいない現状から推進会の構想が生まれ

省エネ事業に力を入れ

る石油製品販売「赤尾商事」

（高崎市）と省エネコンサル

タント会社「三究知」

（同）が今年4月に推進会

を設立。6月には経済産

業省の省エネ支援団体「省

エネお助け隊」に採択され

た。

主な活動として、エネ

ルギー専門家らが中小企

業の省エネ診断を行い、改

善点やコストを見積もって

具体的な支援策を提案す

る。国の補助金などについ

ても助言する。年6回程度

のセミナーを開催して、

推進に向けた取り組みも紹

介する。赤尾代表理事は「カ

ーボンニュートラル社会の

実現に向け、役に立てるよ

う尽力したい」と話して